

# 平成24年度 第41回 高校生のための放送講座 グループ別練習 講師とテーマ

\* 全国大会出場者は加賀先生のグループ、関東大会アナウンス部門出場者は板倉先生のグループ、関東大会朗読部門出場者は濱崎先生のグループに入ります。

\* 原稿は原則2部(自分と講師の分)を持参してください。その他、各講座の講師の指示に従ってください。

\* 各クラス5~6名の予定

講座番号	講師	テーマ	内容・用意するものなど	分類	レベル
1	米澤 正弘 先生 (県立船橋)	もう少しで県大会 もう少しで関東大会	「あと一歩で県大会」、「あと一歩で関東大会」で止まってしまおうのためのアナウンス講座です。もう一歩を乗り越える練習をしましょう。	アナウンス	経験者
2	香取 宏 先生 (県立船橋)	アナウンス原稿のポイントと、波消しブロック法の伝授	①波を消す練習・自然な読みを獲得するための方法 ②アナウンス原稿をどう書けばいいのか、そのヒントをつかむ	アナウンス	不問
3	石井 淳 先生 (検見川)	語りかけるアナウンス (お昼の放送編)	「読む」のではなく「語りかける」アナウンスを考えます。節(ふし)や波を排除して自然に話しかけるアナウンスについて学びましょう。今回はお昼の放送に焦点を当てます。各校のお昼の放送の原稿を持ち寄ってください。事前に原稿を届けていただくと助かります。これからお昼の放送を始めようという人も大歓迎です。	アナウンス	不問
4	樋坂 裕子 先生 (柏の葉)	間:話す息づかいで「話し」ましょう	Nコンの課題文(60回大会で自分が読もうと思っているもの)のコピー10部持参。 朗読をしていて”読んでいる”といわれる人は受講してください。	朗読	不問
5	吉野 文代 先生 (長生)	ストーリーテリング	role playをします。セリフと地の文の読み分けについて考えます。原稿はこちらで用意しますが、読みたい原稿(1分30秒の長さ)がある人はコピーを念のため10部持参してください。	朗読	初心者
6	小林 加代子 先生 (千葉西)	朗読基礎の基礎	皆で同じ原稿を研究しましょう。地の文の表現の仕方を考えたいと思います。持ち物は筆記用具のみ。	朗読	初心者
7	中尾 龍平 先生 (東海大浦安)	伝える気持ちを大切に	筆記用具とメモの準備をお願いします。また、自己紹介等もお願いするかもしれませんが、自分のプロフィールをまとめておいてもらえると助かります。	混合	不問
8	尾形 保夫 先生 (一宮商業)	基本の基本	アナウンス、朗読どちらにするか?アナウンスの題材の見つけ方は?どんなことを心がけたらいいの?初めて取り組む人に。 読み原稿(1分30秒程度)を1部持参し提出してください。(アナ・朗どちらでも、両方でもよい)	混合	初心者
9	和泉 洋一 先生 (成田)	語り方の方法を考える	アナウンス部門と朗読部門では、語り方の基礎的内容は似ています。語り方の方法を研究し、アナウンスや朗読に活かすテクニックを考えてみたいと思います。 放送の大会に参加している、また、これから参加しようと考えている皆さんをお待ちしています。当日はテキストを準備しますので、筆記用具を持参して下さい。	混合	初心者
10	上記以外の先生	私の良いところ、練習すべきところはどこ?	私の良いところは?これからどんな練習をしていけばいいの?自分では気づかないところがあるかもしれません。みんなの耳で探しましょう。	混合	初心者